



高さ50センチ、幅45センチの佐々木佐五平翁坐像



水沢火消しの祖を顕彰して

佐々木佐五平翁坐像除幕式

心字の街創造実行委員会（瀬川巖会長）は4月25日、蔵のあるポケットパークで「佐々木佐五平翁坐像」の完成除幕式を行いました。

同実行委員会では、平成21年度から旧町内を中心に、地域資源を生かした環境整備を行ってきました。今回の坐像設置は、23年度の事業として行われたものです。佐々木佐五平翁は、水沢火消しの祖として地域から顕彰されている人物で、坐像は日高火防祭の象徴の一つとなるのが期待されています。

講談で紫波町の団体と交流

紫波町の観光ガイドの会が講談修業

歴史講談サークル・奥州衣川青凜会（伊藤敏男会長）と紫波町の観光ガイドボランティア「しゃ・べーる」（久慈和子代表）の歴史講談合同稽古が4月6日、歴史ふれあい館で行われました。

約30人が参加したこの合同稽古は、昨年9月に奥州衣川青凜会の講談を聞いたしゃ・べーるが、同会に弟子入りしたことから行われたものです。壇上で練習成果を披露した参加者らは、青凜会師匠である女流講談師・宝井一凜さんの指導に熱心に耳を傾けていました。

宝井一凜さんの指導を受ける参加者



胆沢区

交通事故撲滅へ願い込めて

交通安全だるまりレー出発式

交通事故や飲酒運転の撲滅を願う交通安全だるまりレー出発式が4月8日、南都田字南田の交通安全地蔵尊前で行われました。

この取り組みは、各集落の代表者が無事故を祈ってだるまに署名し、次の集落へリレーするものです。市交通安全対策協議会長である小沢昌記市長が「行事を通して地域の安全意識を醸成したい」とあいさつし、小山・南都田・若柳の3地区へだるまを伝達。この日は、約1,600人が参加し、交通事故撲滅を誓いました。



出発式で伝達された交通安全だるま

衣川区

講談で紫波町の団体と交流

紫波町の観光ガイドの会が講談修業

歴史講談サークル・奥州衣川青凜会（伊藤敏男会長）と紫波町の観光ガイドボランティア「しゃ・べーる」（久慈和子代表）の歴史講談合同稽古が4月6日、歴史ふれあい館で行われました。

約30人が参加したこの合同稽古は、昨年9月に奥州衣川青凜会の講談を聞いたしゃ・べーるが、同会に弟子入りしたことから行われたものです。壇上で練習成果を披露した参加者らは、青凜会師匠である女流講談師・宝井一凜さんの指導に熱心に耳を傾けていました。



願いを込め稚児装束で歩く子どもたち

前沢区

復興を願い町内を練り歩く

2年ぶりの神輿渡御・稚児行列

前沢の春の風物詩である熊野神社春季祭典の神輿渡御と稚児行列が4月8日、旧町内で行われ、幼児12人を含む総勢120人が晴天の下でまちを練り歩きました。

昨年は東日本大震災の影響で中止となったため、2年ぶりの開催となったこの行事。家内安全、五穀豊穡のほか、こしは震災復興の願いも込めて約4.4キロの道のりを歩きました。2時間かけて歩き通した高橋葵ちゃん（5）は「お母さんやみんなと一緒に歩いたから楽しかったよ」と笑顔を見せていました。

江刺区

市天然記念物の桜で花見会

梁川のエドヒガン「種蒔桜」さくらまつり



見事な枝ぶりで見物客を魅了する種蒔桜

梁川のエドヒガン「種蒔桜」さくらまつりが4月27日から5月2日にかけて、梁川の栗生沢集落で開催されました。

同まつりは、ことし3月30日に市の天然記念物の指定を受けた「種蒔桜」でお花見を楽しんでもらおうと梁川地域協議会（小澤祐耕会長）が主催したもの。チラシを配ったり、看板や休憩場所を設置したりして準備を進めてきました。

期間中は約400人もの見物客が訪れる盛況ぶり。江刺区愛宕から夫婦で見物に来た佐藤一晃さん（42）は「看板を見つけて立ち寄った。枝振りが良く、一本だけ立っている姿が良い」と桜の立ち姿をほれほれと眺めていました。

水沢区

未来の科学者を育成しよう

少年少女発明クラブで開講式

水沢少年少女発明クラブ（柳田善雄会長）の開講式が4月22日、水沢南地区センターで行われました。

同クラブの目的は、児童の自由な発想を生かしたもののづくりを通して、将来の科学者や技術者を育てることです。24年度は47人の小学生が入会。年間を通じて課題に取り組みます。開講式で代表者にバッジとワッペンが交付されると、児童は活動への期待に目を輝かせていました。その後、親子工作教室が行われると、磁石を使った玩具づくりに熱中していました。

協力しながら楽しく制作する参加者



大人気のミニ臼餅つき体験コーナー

胆沢区

暖かな春の陽気ににぎわい

水の郷さくらまつりイベント

市観光物産協会胆沢支部協議会が主催する水の郷さくらまつりイベントが4月28日、徳水園特設会場で行われました。

同まつりは、桜の開花に合わせて開催される恒例の行事です。園内の桜はまだ咲き始めでしたが、春の暖かな日差しの中、多数の来場者でにぎわいました。ミニ臼餅つき体験コーナーは、小さな臼と杵で実際にもちをついて試食できるとあって大人気。参加者はきな粉などをまぶした餅に舌鼓を打っていました。